

基本施策25 自然環境の保全

現況と課題

本市の自然は、樽前山麓の広大な森林を始め、湖沼群や湿原、自然緑地などが広く分布しています。全国屈指の渡り鳥の中継地として知られ、ラムサール条約登録湿地となっているウトナイ湖には、鳥獣の良好な生息地の保全、維持、人と野生生物との共生が図られるよう、平成14年（2002年）7月に「ウトナイ湖野生鳥獣保護センター」を開設しました。

この豊かな自然環境は、野生生物の生息・生育の場であるとともに、都市の環境保全や水源かん養などの機能を持ち、また、市民レクリエーションの場としても利用されています。

本市では、こうした優れた自然を保全するため、苫小牧市自然環境保全条例により、自然環境保全地区の指定や開発行為の適正な規制などを行っているほか、北海道環境緑地保護地区、学術自然保護地区、鳥獣保護区などの指定を受けています。

また、近年は、野鳥の高病原性鳥インフルエンザの国内各地での発生、さらに、アライグマやエゾシカによる生態系や農林業などへの被害等、自然環境への影響のみならず、市民生活にも大きな影響を与えており、その対策が求められています。

今後、自然環境保全の意義は一層大きくなるものと考えられ、人と自然との共生を基本に、市民、関係機関、団体、行政が一体となり、自然環境の保全に努める必要があります。

基本目標

人と自然との共生を図りながら市民の貴重な財産である優れた自然環境を保護、保全し、無秩序な開発を規制するとともに、自然や生態系の重要性について理解が深まるように、環境教育や自然保護思想の普及に努め、快適な都市環境を確保します。

関連する個別計画

- ・ 苫小牧市自然環境保全基本方針

主要施策

1 良好な自然環境の保全

SDGs
17の目標



施策番号	自然環境に影響を及ぼすおそれのある開発行為に対して、適正な規制と指導を行い、良好な自然環境や生態系の維持に努めます。
2412511	

担当部・課	環境衛生部 環境生活課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	-------------	------	---------------------

施策評価表

具体的な取組 (R1年度)	苫小牧市自然環境保全条例に基づき、良好な緑地に影響を及ぼす開発行為に制限を加え、無秩序な開発を防止することで緑地の保全に努めています。 都市計画法や宅地造成等規正法の規定による開発行為や宅地造成、その他緑地の保全に影響を及ぼすおそれのある開発行為に対し、条例に基づき規制を行っています。						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	自然環境保全条例に基づく開発行為許可件数	件	8	16			
今後の取組の方向性	苫小牧市自然環境保全条例の趣旨を踏まえ、樹木の伐採・伐根など良好な緑地に影響を及ぼす開発行為の規制を行うことで、自然環境の保全に努めていきます。						

1 良好な自然環境の保全

SDGs
17の目標



施策番号	野生動植物等の生息・生育地として貴重な湿原である美々川流域や弁天沼周辺地域などについては、自然環境保全に必要な実効性のある対策等を関係機関と連携しながら進めます。
2412512	

担当部・課	環境衛生部 環境生活課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	-------------	------	---------------------

施策評価表

具体的な取組 (R1年度)	<p>北海道が平成16年度に立ち上げた「美々川自然再生アクションプログラムワーキンググループ」にオブザーバーとして出席し、事業の進捗・成果など情報収集を行っています。(平成30年度は、胆振東部地震の影響により中止)</p> <p>弁天沼を含む下流域で北海道が進める遊水地(約950ha)整備状況と「安平川下流域の土地利用に関する連絡協議会」の協議等の情報収集を行い、平成29年に自然環境保全の立場から意見を提出しています。</p>						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	美々川自然再生アクションプログラムワーキンググループ	回	0	1			
今後の取組の方向性	<p>美々川流域については、北海道の自然再生事業の推移を見ながら、今後も持続的に自然環境を保全していくために必要となる方策がないかを検討していきます。</p> <p>弁天沼周辺については、北海道の遊水地整備の進行状況を注視し、工事期間における環境への影響の低減を要望するとともに整備後の自然環境保全施策を検討し、関係機関と連携しながら自然環境の保全に努めていきます。</p>						

1 良好な自然環境の保全

SDGs
17の目標



施策番号	農林業や生活環境への被害防止と良好な自然環境や動植物の生息環境維持のため、アライグマやエゾシカの捕獲などの事業を実施します。
2412513	

担当部・課	環境衛生部 環境生活課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	-------------	------	---------------------

施策評価表

具体的な取組 (R1年度)	<p>特定外来生物のアライグマによる生態系への影響や農業被害等があることから、生息数を減少させるため、ワナの貸出しや山林内の生息地にワナを仕掛け捕獲しています。また、エゾシカによる被害抑制のため、北海道が行う捕獲事業を本市域内で実施するよう要望しています。(平成30年度・令和元年度：苫東地区にて実施)</p>						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	アライグマ捕獲頭数	頭	180	227			
今後の取組の方向性	<p>アライグマは旺盛な繁殖力があり、捕獲圧を掛け続けなければ生息数が増加に転じてしまうため、今後も捕獲事業を適正規模で継続していきます。</p> <p>エゾシカについては、今後も北海道の行う捕獲事業を本市域内で行うことを要望していきます。また、市の事業としては、関係課と連携しながら捕獲を進めていきます。</p>						

2 自然保護思想の普及

SDGs
17の目標



施策番号	自然保護思想の普及と自然に対する市民の理解を深めるため、関係機関・団体と連携し、広報活動、学習活動などを実施します。
2412521	

担当部・課	環境衛生部 環境生活課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	-------------	------	---------------------

施策評価表

具体的な取組 (R1年度)	自然ふれあい教室、市民探鳥会、自然観察会など直接自然に触れ合う事業や自然写真・水鳥絵画展の募集、いのちの授業など各種啓発事業のほか、市ホームページにより苫小牧市の自然環境保全地区の紹介を行うなどの広報活動を行っています。						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	自然ふれあい教室 (実施回数・人数)	回・人	15・931	14・911			
	いのちの授業 (実施回数・人数)	回・人	20・1,220	44・1339			
今後の取組の方向性	今後も自然保護思想の普及を図るため、自然の豊かさを感じたり、野生動物保護の大切さなどを知ってもらうため、関係機関・団体と連携しながら情報の発信や各種学習活動を実施していきます。						

2 自然保護思想の普及

SDGs
17の目標



施策番号	ウトナイ湖野生鳥獣保護センターを中心に自然環境などに興味関心が持てるような各種啓発事業を実施し、自然との共生の大切さをより多くの方に広めます。
2412522	

担当部・課	環境衛生部 環境生活課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	-------------	------	---------------------

施策評価表

具体的な取組 (R1年度)	ラムサール条約登録湿地であるウトナイ湖には、人と野生生物の共生が図られるよう、ウトナイ湖野生鳥獣保護センターを開設し、各種啓発事業を通して自然保護思想の普及に努めています。(主な啓発事業 ウトナイ湖漁業体験、自然観察会、野生鳥獣救護講座など)						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	ウトナイ湖野生鳥獣保護センター入館者数	人	50,154	48,072			
今後の取組の方向性	ウトナイ湖野生鳥獣保護センターを中心に今後も事業を継続します。また、道の駅ウトナイ湖との連携など、現行事業の見直しによる新たな事業も検討しながら、市民が興味関心を持ち参加したくなる各種啓発事業を実施していきます。						

基本施策26 公害の防止と地球環境の保全

現況と課題

工業都市として発展してきた本市は、きめ細かな環境監視や公害の未然防止と自然環境の保全の取組を重点施策として推進してきたことにより、様々な環境水準は比較的良好な状態にあります。

しかし、近年は地球温暖化を始めとした地球規模の問題や微小粒子状物質PM2.5による越境汚染などが発生し、環境問題の質や広がりが増加してきています。

このような環境の諸問題に対応するため、今後も公害の未然防止を基本とした対策に取り組むとともに、市民一人ひとりが地球環境の中で生きるものの一員であることの自覚を持ち、自ら行動し、地球環境への負荷の少ない社会を構築していく必要があります。

基本目標

産業型公害や社会情勢の変化による環境の諸問題に適切に対応するため、引き続き環境監視の継続と充実を図り、公害の未然防止に努め、市民の健康及び安全な生活を守ります。

また、近年の地球環境問題は、私たちの日常生活や社会システムの変化などが、密接に関わっていることから、市民、事業者が、より環境に配慮したライフスタイルへの転換を図るなど、地球環境への負荷の少ない社会の構築を目指します。

関連する個別計画

- ・ 苦小牧市環境基本計画
- ・ 苦小牧市地球温暖化対策地域推進計画

主要施策

1 公害の防止



施策番号	市民の健康と安全な生活環境を確保するため、各種環境測定機器の適切な維持管理及び充実を図るとともに市民への情報提供に努めます。
2412611	

担当部・課	環境衛生部 環境保全課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	-------------	------	---------------------

施策評価表

具体的な取組 (R1年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各種常時測定機器保守点検の実施 ・ 大気測定局舎内設置の老朽化した測定機 1 台を更新 ・ 効率向上を図るため大気明野公園局、糸井局の記録計をデジタル化 ・ 大気関係の測定データはリアルタイムで1時間ごとにホームページの「苦小牧市の大気環境」で公表し、大気・航空機騒音の月報はホームページ及び例月発行の冊子で公表 ・ 航空機騒音システムの更新及び糸井測定局の稼働開始 ・ アスベスト大気濃度測定のための顕微鏡を導入 						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	大気環境基準達成率	%	91	91			
	航空機騒音環境基準達成率	%	100	100			
今後の取組の方向性	<p>大気汚染や航空機騒音の常時監視については、測定機器の保守点検や機器更新を適正に行い、機器不具合の未然防止に努め、安定的な監視測定を行ってまいります。</p> <p>また、監視結果に問題がある場合には、発生源の調査や必要に応じて指導又は要請を行ってまいります。</p> <p>監視データの情報提供については、引き続きホームページや例月発行の冊子で公表を行ってまいります。</p>						

1 公害の防止

SDGs 17の目標



施策番号	自動車や航空機などからの交通公害、化学物質による環境汚染については、市民や事業者の理解・協力を得ながら未然防止対策を推進します。
2412612	

担当部・課	環境衛生部 環境保全課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	-------------	------	---------------------

施策評価表

具体的な取組 (R1年度)	<ul style="list-style-type: none"> 市内各箇所において、一般環境、自動車騒音・自動車交通振動、航空機騒音、有害大気汚染物質、悪臭、河川水質などの測定を実施 結果を環境白書やホームページに掲載し公表 						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	各種測定結果の基準達成率	%	95	98			
今後の取組の方向性	<p>各測定ごとに評価を行い、必要に応じて発生源に対する指導や要請などを行いながら、未然防止を基本に対策を推進します。 また、発生後の対策についても迅速に対応し早期解決を目指します。</p>						

1 公害の防止

SDGs 17の目標



施策番号	事業者などに対する法令及び公害防止協定による規制・指導により、公害を未然に防止します。
2412613	

担当部・課	環境衛生部 環境保全課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	-------------	------	---------------------

施策評価表

具体的な取組 (R1年度)	<ul style="list-style-type: none"> 立地予定企業との公害防止に係る事前協議や既に公害防止協定を締結している企業への立入調査を全企業を対象に実施 必要に応じた指導・助言 						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	公害防止協定 基準値達成率	%	100	100			
今後の取組の方向性	<p>立地予定企業との事前協議や、既に立地済みで一定規模以上の環境負荷がある公害防止協定締結企業への立入調査を行うことにより、公害を未然に防止する意識の向上を図っていきます。</p>						

2 地球環境保全の推進

SDGs
17の目標



施策番号	「環境基本計画」及び「地球温暖化対策地域推進計画」に基づき、環境負荷の小さいまちづくりを市民・事業者とともに進めます。
2412621	

担当部・課	環境衛生部 環境保全課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	-------------	------	---------------------

施策評価表

具体的な取組 (R1年度)	・市民、事業者、民間団体が構成する環境基本計画推進会議で、環境基本計画を推進するため、会議3回、啓発事業5回実施						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	啓発事業への市民参加者数	人	161	137			
今後の取組の方向性	事業を継続して実施し、事業への参加者数増加を図り、計画の推進を目指します。						

基本施策27 生活衛生の充実

現況と課題

健康で快適な生活環境を確保するためには、市民一人ひとりが「住みよい環境は自分が守る」という高い意識を持ち、それを実践することが必要不可欠です。一方、生活衛生における課題は、市街地における病害虫の異常発生、犬猫による近隣トラブルと狂犬病予防注射接種率の低下、公衆浴場の存続問題、下水道認可区域以外の区域における汚水等の処理など、数多くあります。

老朽化が進む高丘霊園や動物火葬場、熱劣化による損傷が著しい高丘霊葬場の火葬炉設備についても計画的な改修を行っていかねばなりません。

また、墓地使用申込みの減少が続いていることから、需要に応じた墓地の造成を行い、多様化する市民ニーズに対応するため新たな埋葬方式についても検討する必要があります。

基本目標

市民への衛生意識の啓発・指導などの機会の充実を図り、良好な生活環境を確保します。
また、市民の需要に応じた霊園や霊葬場などの整備・改修を行い、施設の安定運営に努めます。

主要施策

1 生活環境の確保

SDGs
17の目標



施策番号	空き地所有者に対し、雑草除去の指導勧告を行い、火災や犯罪、病害虫の発生を防止します。
2412711	

担当部・課	環境衛生部 環境生活課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	-------------	------	---------------------

施策評価表

具体的な取組 (R1年度)	<ul style="list-style-type: none"> 市街地の空き地調査を行い雑草等が繁茂している空き地の管理者に対して文書の発送を行い(消防本部が作成した防火対策文書も同封)、それでも草刈りが行われない空き地管理者に対して文書の再発送を行っています。 資産税課の納付書発送時にも草刈り依頼文書を同封しています。 						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	文書発送通数 (1回目)	通	863	826			
	文書発送通数 (2回目)	通	305	382			
	文書発送通数 (3回目)	通	-	197			
今後の取組の方向性	<p>空き地において雑草等が繁茂するとドクガなどの害虫や事件・事故及び火災等の発生原因となり、また地域環境の悪化をもたらします。 空き地の草刈りは管理者の協力がなければ解決しない問題であり、今後も引き続き管理者に対し適切な維持管理を粘り強く要請してまいります。</p>						

1 生活環境の確保

SDGs
17の目標



施策番号	犬猫飼育者に対し、適正飼育の啓発や指導を行い、犬猫が引き起こす様々な近隣トラブルを防止するほか、狂犬病予防注射接種率を向上させることで狂犬病の発生を防止します。また、野良猫等によるふん尿被害を防止するため効果的な啓発・指導・勧告を行います。
2412712	

担当部・課	環境衛生部 環境生活課	反映区分	B (実現に向けて努力しているもの)
-------	-------------	------	-----------------------

施策評価表

具体的な取組 (R1年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・狂犬病予防注射（集合注射）の実施（4月） ・狂犬病予防注射案内ハガキの発送（9月下旬及び3月下旬） ・犬の登録及び狂犬病予防注射について、市ホームページやポスター等で周知 ・野良猫等のふん尿被害の連絡が市に寄せられた場合は、現地確認を行い特定できれば直接注意指導を行うほか、チラシやポスターにより注意喚起 						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	狂犬病予防注射接種率	%	69.34	67.74			
今後の取組の方向性	<p>狂犬病の国内発生や拡大・まん延の防止を図るため、犬の飼い主一人ひとりが狂犬病に関して正しい知識を持ち、飼い犬の予防注射を確実に行うことが必要であることから、今後もより一層意識啓発を図っていきます。</p> <p>また、犬猫等のふん尿被害を少しでも抑制するため、市ホームページや広報等を活用し引き続き注意喚起を図っていきます。</p>						

1 生活環境の確保

SDGs
17の目標



施策番号	公衆浴場の存続と経営の安定化を図るため、各種の助成を継続します。
2412713	

担当部・課	環境衛生部 環境生活課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	-------------	------	---------------------

施策評価表

具体的な取組 (R1年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・公衆浴場下水道料金軽減 ・公衆浴場振興補助金 ・公衆浴場設備整備助成金 ・公衆浴場確保対策事業 						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	補助金・助成金（上記のとおり）	千円	21,428	21,694			
今後の取組の方向性	<p>近年、公衆浴場の経営が困難な傾向にあることを踏まえ、公衆浴場に対し補助（助成）金を交付することにより、経営の合理化を促進し、その安定と確保を図るとともに、老人や体の不自由な方などが利用しやすい環境づくりを推進していきます。</p>						

1 生活環境の確保



施策番号	市街化調整区域であり、下水道認可区域以外の区域における合併処理浄化槽の普及を促進し、公衆衛生の向上を図ります。
2412714	

担当部・課	環境衛生部 ゼロごみ推進課	反映区分	B (実現に向けて努力しているもの)
-------	---------------	------	-----------------------

施策評価表

具体的な取組 (R1年度)	<ul style="list-style-type: none"> 合併処理浄化槽の設置申請受付（事業所19件、家庭0件） 浄化槽の維持管理改善通知の送付（33件） 						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	合併処理浄化槽補助金交付件数	件	2	0			
	浄化槽維持管理改善通知数	件	31	33			
今後の取組の方向性	<p>下水道認可区域以外では、し尿は汲み取り式やみなし浄化槽で処理されるほか、生活雑排水（台所、洗濯、風呂等の排水）は未処理のまま川や海に流され、水質の悪化や環境汚染等の原因となることが懸念されます。</p> <p>今後も、生活環境の改善や河川等の汚濁を防止することから、合併処理浄化槽補助金交付事業を継続するとともに、補助対象者への普及啓発を推進していきます。</p> <p>また、浄化槽法で規定されている法定検査の未受検者や、検査結果が不適正となった設置管理者に対し適切な指導を行います。</p>						

2 霊園・霊葬場などの整備



施策番号	高丘霊園及び高丘第二霊園の老朽化した施設の整備を行い、利便性の向上を図ります。
2412721	

担当部・課	環境衛生部 環境生活課	反映区分	B (実現に向けて努力しているもの)
-------	-------------	------	-----------------------

施策評価表

具体的な取組 (R1年度)	<ul style="list-style-type: none"> 高丘霊園階段補修工事 高丘第二霊園休憩所撤去工事 						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	事業費（上記のとおり）	千円	7,816	2,500			
今後の取組の方向性	<p>大規模改修工事（平成26年度～平成29年度）により、利用者の利便性向上が図られましたが、いまだ一部施設の老朽化が著しいため、今後も引き続き高齢者や障がい者に優しく、安心して墓参できるよう霊園の整備を行っていきます。</p>						

2 霊園・霊葬場などの整備

SDGs
17の目標



施策番号	動物火葬場の更新について検討します。
2412722	

担当部・課	環境衛生部 環境生活課	反映区分	B (実現に向けて努力しているもの)
-------	-------------	------	-----------------------

施策評価表

具体的な取組 (R1年度)	・動物火葬場火葬炉バーナー分解修理						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	事業費（上記のとおり）	千円	76	198			
今後の取組の方向性	高丘動物火葬場は、市民の方を対象に亡くなったペット等を火葬する施設として市民生活に必要不可欠ですが、昭和53年から運用開始している火葬炉設備等の劣化が著しいことから、定期点検・修繕などにより安定した業務を継続するとともに更新についても検討していきます。						

2 霊園・霊葬場などの整備

SDGs
17の目標



施策番号	高丘霊葬場の指定管理者制度を継続するとともに火葬炉設備の計画的な改修を行い、安定した火葬業務に努めます。
2412723	

担当部・課	環境衛生部 環境生活課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	-------------	------	---------------------

施策評価表

具体的な取組 (R1年度)	・指定管理者制度の継続 ・火葬炉設備改修工事						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	指定管理費	千円	46,416	49,065			
	火葬炉設備改修工事費	千円	17,896	16,632			
	電源装置改修工事費	千円	-	1,577			
今後の取組の方向性	民間事業者の能力やノウハウを広く活用し、市民サービスの向上、行政コストの縮減を図るため、指定管理者制度を継続していきます。 また、高丘霊葬場は平成9年の供用開始から20年以上が経過し火葬炉設備等の劣化が著しいことから、計画的な点検整備を行い、安定した業務を継続するとともに、大規模改修を検討していきます。						

2 霊園・霊葬場などの整備

SDGs
17の目標



施策番号	墓地に対する需要動向を見極め、効率的な墓地の造成を行います。
2412724	

担当部・課	環境衛生部 環境生活課	反映区分	B (実現に向けて努力しているもの)
-------	-------------	------	-----------------------

施策評価表

具体的な取組 (R1年度)	<ul style="list-style-type: none"> 市民の墓地に対する需要把握に当たってのアンケートの実施 (令和元年度は、市民の墓地に対する需要把握のため、任意抽出により2,000世帯にアンケートを実施し、746件の回答(37.3%)があり、比較的関心の高さを伺い知ることができました。しかし、令和元年度はアンケートの実施、結果の取りまとめまでの実施となり、評価指標(事業実績)を数値化するまでには至っておりません。) 						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
今後の取組の方向性	<p>当該アンケート結果を踏まえ、今後は市民ニーズの需要に沿った墓所整備の検討や維持管理を実施するとともに、将来に向けた市営墓地の在り方を検討していきます。</p>						

2 霊園・霊葬場などの整備

SDGs
17の目標



施策番号	少子高齢化や核家族化による市民ニーズに対応するため、新たな埋葬方式について検討します。
2412725	

担当部・課	環境衛生部 環境生活課	反映区分	B (実現に向けて努力しているもの)
-------	-------------	------	-----------------------

施策評価表

具体的な取組 (R1年度)	<ul style="list-style-type: none"> 市民の墓地に対する需要把握に当たってのアンケートの実施 (令和元年度は、市民の墓地に対する需要把握のため、任意抽出により2,000世帯にアンケートを実施し、746件の回答(37.3%)があり、比較的関心の高さを伺い知ることができました。しかし、令和元年度はアンケートの実施、結果の取りまとめまでの実施となり、評価指標(事業実績)を数値化するまでには至っておりません。) 						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
今後の取組の方向性	<p>近年、「終活」という言葉が広く日本へ広がり、自分や家族のための上手な終焉の迎え方をしっかり考える時代が到来しています。それを象徴するように、樹木葬や宇宙葬など新たな埋葬方式が登場し、全国的にお墓の在り方が大きく変化しています。 今後は、アンケート結果を踏まえ、市民が望む新たな埋葬方式に沿った墓所整備の可能性や維持管理方法を検討していきます。</p>						

基本施策28 ごみの減量とリサイクルの推進

現況と課題

本市では、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づき、平成22年（2010年）3月に平成22年度（2010年度）から平成36年度（2024年度）までを計画期間とする「苫小牧市一般廃棄物処理基本計画」を策定しています。この計画では、「053(ゼロごみ)のまち とまこまい」を基本理念に、①リフューズ（ごみ発生抑制）、リデュース（ごみ排出抑制）、リユース、リサイクルの4Rの推進によるごみの減量、②市民との情報共有と環境教育の推進、③環境負荷の軽減を目指す効率的なごみ処理事業の推進の3つの基本方針を定め、ごみの発生・排出削減及びリサイクル、適正処理に向けた取組や方策を定めています。この計画に基づき、計画前期に家庭ごみの有料化の導入や資源物の分別品目拡大等の施策を実施し、市民や事業者の協力のもと、計画前期の目標である「1人1日当たりの家庭ごみ排出量550g」と「リサイクル率28%」を達成することができました。

今後のごみ処理の課題としては、①生ごみなど家庭ごみの減量とリサイクルの推進、②事業系ごみのうち資源化が可能な紙類などの減量とリサイクルの推進、③分かりやすい市民への情報提供と啓発、④将来を見据えた焼却処理施設の適正配置や最終処分場の整備などローコストで効率的なごみ処理システムの確立などがあります。

これらのごみ処理の課題や国の新たな方向性を注視し、資源循環型社会の構築を目指していく必要があります。

基本目標

循環型社会の構築に向け、市民・事業者・行政が一体となり、4Rの推進と、適切な情報提供、情報共有、環境教育を推進するとともに、効率的な収集運搬体制や適正な規模の処理施設の確保に努め、更なるごみの減量やリサイクルの推進を図ります。

関連する個別計画

- ・苫小牧市一般廃棄物処理基本計画

主要施策

1 4Rの推進によるごみの減量



施策番号	家庭ごみの減量に向け、ごみ発生抑制・排出抑制行動のきっかけづくりとなる取組や生ごみ3きり運動の推進、生ごみ堆肥化容器等の普及を促進するとともに、生ごみの資源化に向けた施策の調査・研究を進めます。
2422811	

担当部・課	環境衛生部 ゼロごみ推進課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	---------------	------	---------------------

施策評価表

具体的な取組 (R1年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・生ごみ堆肥化コンポスト容器等助成事業（コンポスト容器・密閉式容器・電動生ごみ処理機） ・生ごみ分解処理容器助成事業（キエーロ・トラッシュファミリー） ・食品ロス削減についての啓発イベントの実施 <ul style="list-style-type: none"> ・2510（ニコとま）運動推奨店認定制度の推進 ・フードドライブ事業・3きり運動の推進 ・先進都市への視察研修 						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	生ごみ堆肥化・分解等助成事業	件	159	103			
	2510（ニコとま）運動推奨店	店舗	21	7			
	フードドライブ事業	点	32	64			
今後の取組の方向性	<p>今後も生ごみの減量を推進するため、生ごみ堆肥化・分解処理容器の購入促進を継続し、排出抑制の強化に取り組んでいきます。</p> <p>また、2510（ニコとま）運動についても積極的な取組、イベント等を開催し、ごみ発生抑制の推進を図ります。</p> <p>あわせて、他市町村で行っている生ごみの資源化に向けた施策の調査・研究を進めます。</p>						

1 4Rの推進によるごみの減量

SDGs
17の目標



施策番号	多量排出事業者への啓発・指導や収集運搬許可業者と連携した分別や適正排出の指導を行うことにより、事業系ごみの減量を推進します。
2422812	

担当部・課	環境衛生部 ゼロごみ推進課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	---------------	------	---------------------

施策評価表

具体的な取組 (R1年度)	・沼ノ端クリーンセンターにて搬入車両の展開調査を開始 (9回 25件)						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	事業系一般廃棄物のごみ量	t	22,836	22,153			
今後の取組の方向性	事業系ごみの展開調査を実施し、排出状態の悪い事業所や指導を求める事業所に対して、説明会や出前講座を実施し排出ルールを周知することで、事業系ごみの減量に努めます。						

1 4Rの推進によるごみの減量

SDGs
17の目標




施策番号	分別徹底の周知強化や集団回収の促進、拠点回収の推進、事業系ごみリサイクルの促進により、資源物のリサイクルを推進します。
2422813	

担当部・課	環境衛生部 ゼロごみ推進課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	---------------	------	---------------------

施策評価表

具体的な取組 (R1年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・集団回収奨励金の交付 (215 団体 14,590千円) ・市の公共施設における拠点回収をごみ収集カレンダー等で周知 ・資源物排出ルールの周知 						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	集団回収量	トン	5,315	4,863			
	拠点回収量	トン	322.9	237.6			
	リサイクル率	%	31.4	31.2			
今後の取組の方向性	<p>集団回収奨励金や拠点回収事業を継続し、資源物リサイクルを推進します。</p> <p>また、ごみ減量とリサイクル推進を図るため、引き続きイベントの開催に加えて、名称を「ゼロごみプレミアム講座」と改めた出前講座の内容を充実させます。</p> <p>さらに、広報とまこまい、市ホームページ、インスタグラムなど、様々な媒体を活用し、分別の啓発を進めてまいります。</p>						

2 市民との情報共有と環境教育の推進

SDGs
17の目標



施策番号	転入者に対する周知・啓発、リサイクルプラザ苦小牧での各種情報の提供、次世代市民への環境教育の充実を図ることにより、ごみ減量とリサイクル推進に関する情報発信を推進します。
2422821	

担当部・課	環境衛生部 ゼロごみ推進課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	---------------	------	---------------------

施策評価表

具体的な取組 (R1年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・ゼロごみプレミアム講座 18回 912人 ・環境教育副読本配布 3,195人 ・転入者向け相談窓口 13回 126人 ・リサイクルプラザ来館者数 21,814人 ・リサイクルプラザ次世代市民見学者数 1,497人 						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	出前講座「ゼロごみプレミアム講座」	回	63	18			
	転入者向けごみ分別相談窓口	日	21	13			
	リサイクルプラザ来館者数	人	26,919	21,814			
今後の取組の方向性	<p>ごみ減量とリサイクル推進を市民に啓発するため、出前講座「ゼロごみプレミアム講座」や、各種パンフレット等をQRコードで確認できる「ゼロごみ推進CARD」配布を継続します。</p> <p>さらに、転入者に本市のごみ排出ルール等を理解していただくため、転入者が多い時期に分別相談窓口を設置し、説明や相談対応を行います。</p> <p>あわせて、次世代市民への環境教育のため、小中学生向けの環境教育副読本の配布や、リサイクルプラザ苦小牧における体験学習や見学受入れを継続するとともに、新たな事業や体験学習の対象を未就学児にも拡大すること等を検討します。</p>						

2 市民との情報共有と環境教育の推進

SDGs
17の目標



施策番号	ぼい捨て防止対策や不法投棄対策の強化、パトロールや指導などによるごみ排出マナーの向上、市民と協働して美化活動に取り組むことで、環境美化を推進します。
2422822	

担当部・課	環境衛生部 ゼロごみ推進課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	---------------	------	---------------------

施策評価表

具体的な取組 (R1年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・不法投棄パトロール 102回実施 不法投棄発生 78件 (内警察対応 12件 投棄者処理 2件 土地所有者 52件 市処理 12件) ・ぼい捨て看板設置 						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	監視カメラの設置	基	5	0			
	ぼい捨て看板の設置	基	100	186			
今後の取組の方向性	<p>今後も監視カメラや抑止看板及びぼい捨て看板を設置することで、ごみ排出マナー向上に取り組めます。</p> <p>また、不法投棄やぼい捨てされた廃棄物をボランティアにより清掃する活動についても積極的に後押しを行い、市民との協働による美化活動に取り組み、不法投棄撲滅を目指します。</p>						

3 環境負荷の軽減を目指す効率的な ごみ処理事業の推進

SDGs
17の目標



施策番号	安定したごみ処理体制の確立のために、沼ノ端第2埋立処分場を整備するとともに、廃棄物処理施設の跡地利用を検討します。
2422831	

担当部・課	環境衛生部 施設管理課	反映区分	B (実現に向けて努力しているもの)
-------	-------------	------	-----------------------

施策評価表

具体的な取組 (R1年度)	沼ノ端第2埋立処分場の整備、糸井清掃センターの廃炉を計画どおり進めました。						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	沼ノ端第2埋立処分場の整備（出来高／総事業費）	%	28	49			
	糸井清掃センターの休廃炉		休炉	廃炉			
今後の取組の方向性	<p>効率的なごみ処理事業の推進のため、将来に向けての安定的処理体制をより一層確保していく必要があります。</p> <p>そのためには、沼ノ端第2埋立処分場の整備を計画どおり進めるとともに、糸井清掃センターの跡地利用について、災害廃棄物の集積場としての活用など、効率的なごみ処理事業について検討していきます。</p>						

3 環境負荷の軽減を目指す効率的な ごみ処理事業の推進

SDGs
17の目標



施策番号	国・北海道などと連携しながら、災害廃棄物処理計画の策定を含め、災害時の対応や災害廃棄物の適正処理に向けた取組を進めます。
2422832	

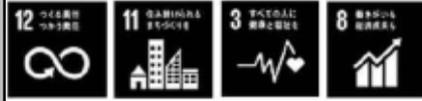
担当部・課	環境衛生部 ゼロごみ推進課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	---------------	------	---------------------

施策評価表

具体的な取組 (R1年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 苫小牧市災害廃棄物処理計画の策定に向けた検討の実施 ・ 令和元年度「大規模災害時における処理困難物適正処理モデル事業」に応募 						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	苫小牧市災害廃棄物処理計画骨子案	%	0	100			
今後の取組の方向性	<p>これまでに、国によるモデル事業に参加し、災害廃棄物処理計画骨子案を策定しています。</p> <p>令和2年4月下旬に国から、太平洋側（北海道から東北地方北部）を震源とする巨大地震の新たな想定が公表されました。これによって、北海道では新たな被害想定など検討を開始しています。</p> <p>今後については、北海道と連携を強化し、本市のハザードマップ改定と合わせて、苫小牧市災害廃棄物処理計画策定に向けて取組を進めます。</p>						

3 環境負荷の軽減を目指す効率的な ごみ処理事業の推進

SDGs
17の目標



施策番号	ふくしのまちづくりに向け、戸別収集の段階的導入、ごみ収集の多面的機能について検討を行うほか、ふれあい収集の推進を図ります。
2422833	

担当部・課	環境衛生部 ゼロごみ推進課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	---------------	------	---------------------

施策評価表

具体的な取組 (R1年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 戸別収集に関する官民連携のワーキンググループの開催 ・ 戸別収集に関する各種課題の再検討 ・ ごみ収集体制に関わる委託業者との協議 ・ ごみ収集カレンダー変更に関する委託業者との協議 ・ ふれあい収集制度実施に関する車両台数の検討 						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	ふれあい収集の件数	件	654	687			
今後の取組の方向性	<p>戸別収集については、引き続き検討を進め、ふくしのまちづくりにふさわしい苦小牧方式のごみ収集の在り方を模索します。</p> <p>また、ふれあい収集を継続するとともに、高齢者に関する統計データを基に、今後の収集車両や人員等の体制について検討し、必要に応じて措置します。</p>						